

賛助企業（寄附、ランチョンセミナー、器機展示、広告）一覧

【寄附／Sponsors】

大阪医薬品協会／Osaka Pharmaceutical Manufacturers Association

The company of Biologists

公益財団法人 サントリー生命科学財団／Suntory Institute for Bioorganic Research

【ランチョンセミナー／Luncheon Seminars】

オリンパス株式会社／Olympus Corporation

【器機展示／Exhibition】

カールツァイスマイクロコピー株式会社／Carl Zeiss Microscopy Co., Ltd.

株式会社ベックス／BEX CO., LTD.

ネッパジーン株式会社／NEPA GENE CO., LTD.

日立アロカメディカル株式会社／Hitachi Aloka Medical, Ltd.

和光純薬工業株式会社／Wako Pure Chemical Industries, Ltd.

株式会社イワキ／IWAKI CO., LTD.

ライカマイクロシステムズ株式会社／Leica Microsystems K.K.

ナカライテスク株式会社／NACALAI TESQUE, INC.

オリンパス株式会社／Olympus Corporation

サイエンス・アイ株式会社／Science-eye

株式会社ニコンインスティック／NIKON INSTECH CO., LTD.

WILEY-BLACKWELL

株式会社ジーンデザイン／GeneDesign, Inc.

エア・ブラウン株式会社／AR BROWN CO., LTD

【広告／Advertisement】

株式会社イナ・オプティカ／INA・OPTIKA CO., LTD

有限会社友田大洋堂

フナコシ株式会社／Funakoshi Co., Ltd.

(2013年4月10日現在 順不同、敬称略)

MEMO

MEMO

MEMO

MEMO

ユ ー ザ ー ニ ー ズ に 対 応 す る
研 究 室 の 総 合 デ ィ ー ラ ー



営 業 品 目

理 化 学 機 器 ・ 試 薬 ・ 硝 子 器 具
バ イ オ ・ 遺 伝 子 ・ 分 子 生 物 関 連 製 品
研 究 設 備 ・ メ ン テ ナ ンス サービス など



有 限 公 司 友 田 大 洋 堂

本 社 〒690-0047 松江市嫁島町 13-34
TEL 0852-24-3456 FAX 0852-24-3461
E-Mail アドレス : tomoda-matsue@tomoda-taiyoudo. co. jp

鳥 取 営 業 所 〒680-0862 鳥取市雲山 147-4
TEL 0857-22-4156 FAX 0857-22-4155
E-Mail アドレス : ttomoda@tomoda-taiyoudo. co. jp

GENETOOLS, LLC

検索キーワード

検索

UV光の照射で機能のON / OFFができるアンチセンス

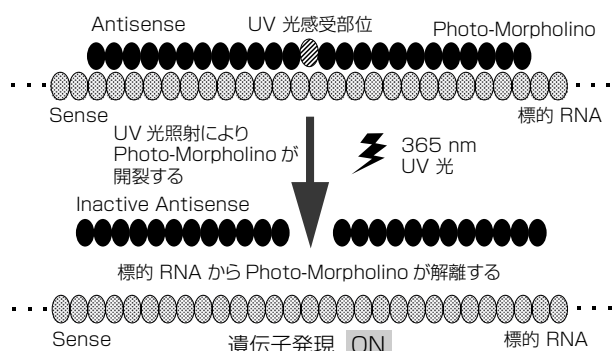
Photo-Morpholino

365 nm の UV 光の照射により開裂するモルフォリノアンチセンスオリゴです。発生の後期段階の研究に有用な、2種類の製品があります。

Antisense Photo-Morpholino

UV 光の照射でアンチセンスの機能が OFF になります。

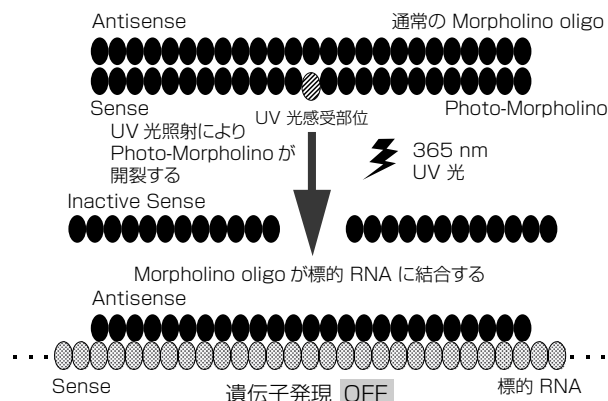
UV 光の照射によりモルフォリノアンチセンスオリゴが開裂して標的 RNA から解離し、発現抑制効果が失われます。



Sense Photo-Morpholino

UV 光の照射で発現抑制効果が ON になります。

通常モルフォリノアンチセンスオリゴと、UV 光感受性のセンスオリゴをアニールした後に、胚へ導入します。UV 光の照射によりセンスオリゴが開裂して、解離したモルフォリノアンチセンスオリゴが標的 RNA に結合し、発現抑制が開始されます。



モルフォリノアンチセンスオリゴ

モルフォリノアンチセンスオリゴは、従来使用されている S-Oligo などのアンチセンスの問題点（特異性、安定性、配列決定の難しさなど）を克服した、細胞毒性のない、第三世代のアンチセンスオリゴです。

- 発生・分化研究、遺伝学、薬物の標的分子研究などで多くの使用実績があります。
- タンパク質翻訳阻害、スプライシング阻害および miRNA 阻害用のモルフォリノアンチセンスオリゴの合成が可能です。

Vivo-Morpholino

in vitro での導入用に octa-guanidine dendrimer で修飾された製品で、静脈内、腹腔内または標的組織への注射により導入します。また、培養組織にも適用でき、予備実験が可能です。

※最新の情報は、GeneTools 社ホームページ (<http://www.gene-tools.com/>) および Morpholino discussion board (<http://morpholinos.yuku.com/>) をご覧下さい。

■ 日本総代理店

フナコシ株式会社

〒113-0033 東京都文京区本郷2丁目9番7号

■ 試薬に関して

Tel. 03-5684-1620 Fax 03-5684-1775

e-mail: reagent@funakoshi.co.jp

■ 受託に関して

Tel. 03-5684-1645 Fax 03-5684-6539

e-mail: jutaku@funakoshi.co.jp

■ 機器に関して

Tel. 03-5684-1619 Fax 03-5684-5643

e-mail: kiki@funakoshi.co.jp